

# 定期総会資料

令和6年5月19日(日) 12時00分より  
於：板橋区立金沢小学校

## 会 次 第

司会：事務局長

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議 事  
(1) 令和5年度  
事業報告 並びに 承認  
① 庶務部活動報告  
② 研修部活動報告  
③ 広報部活動報告  
④ 調査研究部活動報告  
(2) 令和5年度  
会計報告 並びに 承認  
① 決算報告  
② 会計監査報告  
(3) 令和6年度  
役員組織案 承認  
会 長 (役員代表) 挨拶  
(4) 令和6年度  
事業計画 並びに 承認  
① 全体活動計画案  
② 庶務部活動計画案  
③ 研修部活動計画案  
④ 広報部活動計画案  
⑤ 調査研究部活動計画案  
(5) 令和6年度  
会計計画 並びに 承認  
① 予算計画案
4. 顧問紹介
5. その他、事務連絡
6. 閉会の辞

# (1) 令和5年度 事業報告

## ① 庶務部活動報告

1. 総会開催事務・・・全会員宛の開催案内状の作成と発送及び総会資料の作成
  - ・令和5年5月14日(日)10:30~13:00 江戸川区立二之江第二小学校にて開催した。
  - 《・会計監査10:00~・役員会10:30~・総会12:00~13:00 参加者数27名》
  - 《・総会議案書、総会資料115部作成》《・都小理総会配布資料150部印刷》
  - \*都小理総会・講演会・・・同日・13:30~16:00〔体育館〕への参加をした。
2. 感謝状贈呈の準備及び表彰
  - ・令和5年5月14日(日)都小理総会・講演会終了後の研究奨励賞表彰式後に実施した。
  - ① 受賞者 令和4年度 都小理会長 西尾克人様 (府中市立南白糸台小学校長)
  - ② 表彰内容 賞状(額付き)の授与(感謝状の贈呈補助)
  - ・感謝状の賞状の作成と賞状額の手配、および表彰式当日のOB会旗設置等をした。
3. 総会時以降の役員会等開催事務・・・会場校連絡調整、開催案内状案の作成と発送・配信
  - ・第1回 令和5年9月12日(火)14:00~16:00 杉並区立高井戸小学校 出席者16名
  - ・第2回 令和6年1月16日(火)14:00~16:00 豊島区立朋有小学校 出席者16名
  - ・第3回 令和6年3月5日(火)14:00~16:00 杉並区立高井戸小学校 出席者14名
4. 庶務部会(4月・7月)の開催及び「会員の声」等の作成
  - ・4月25日総会前臨時部会開催。今年度の部員の仕事分担と、総会案内と会員継続確認書・総会出欠回答欄と「会員の声」原稿枠を入れた往復葉書の送付(回収:部長)についての確認をした。
  - ・総会開催日まで、往復葉書の返信を基に、新年度の会員数と総会出席者数の事前把握をした。
  - ・回収原稿を担当が「会員の声」として入力、7月部会で印刷したものを綴込み、冊子にした。
  - ・部会で「会員の声」、総会欠席者分議案書、都小理配布資料不足分を製本、発送会場に送った。
  - ・OB会報第73号発送の封筒に同封し、全会員に行き渡るよう総会議案書と共に配布した。
  - ・名簿の訂正や会則の改定が生じたときは、その都度修正を行い、更新に努めた。
5. 新入会員募集(入会案内)事務(令和5年度当初及び令和6年度に向けて)
  - ・令和5年度当初 入会意志確認葉書回収日…4月末日(4月迄の入会会員に総会案内を発送)
  - ・令和5年度末・理科部関係退職教員の確認…6年3月5日役員会にて実施。
  - ・令和5年度末・勧誘対象者へ入会案内状などの送付…3月25日までに実施。
  - 《同封文書・・・入会案内状、OB会会則、OB会便り、入会意志確認返信葉書》
6. 令和5年度末会員数の確認【5年度総会時:100名】
  - ・令和4年度末会員数99名・令和4年度末退会会員数(3/31)11名(内物故数1名)
  - ・令和5年度末予定会員数97名
  - 《5年度当初会員数99名+新入会員数1名-退会会員数3名(内物故数2名)》
7. HPの作成と更新・・・総会等及び年3回広報誌発行時、随時更新(16回更新済:3/10現在)
  - ・会員の掲示板を企画立案し、ルールを決め、次年度からHP上で展開できるようにした。
8. 新企画の立案、懇親会事務及び、研修部、広報部、調査研究部、会計などに属さない内容の対応
  - ・会員の意向調査の結果を受け、新企画「会員の声」を発行し、全会員へ冊子を配布できた。
  - ・懇親会準備では、メールを活用し、事務局長の下で、各部・施策担当と連携して進められた。

## ② 研修部活動報告

### 第1回研修会 「植物観察会」

- 日 時 令和5年5月24日(水)に実施 10時~15時
- 会 場 裏高尾の日影沢付近
- 集 合 JR高尾駅北口午前9時50分集合
- 講 師 畑中 喜秋先生 ○ 参加者10名
- 内 容 都小理OB会便りに「植物の進化~花の進化を中心にして~(5回シリーズ)」の玉稿を寄せて戴きました畑中喜秋先生を講師にお迎えして、一日じっくり植物観察を行いました

た。現地で見られた植物を系統関係図に照らして、進化の観点から詳しく解説していただきました。ルーペを使って、花のつくりを詳細に観察したことは、普段できない貴重な体験になりました。

## 第2回研修会 「講話と発表」

- 日 時 令和5年10月7日(土)に実施 13時～15時(研修後、懇親会に参加)
- 会 場 港区立青南小学校4階理科室(港区南青山 4-21-15)
- 集 合 千代田線・銀座線・半蔵門線表参道駅青山通り方面改札を出た所に12時40分集合
- 講 師 港区立青南小学校の指導教諭 寺師 純子先生 ○ 参加者 17名
- 内 容 都小理OB会の皆様からのアンケート結果を受けて、「講話と発表」という内容で行いました。講師は、令和4年度の都小理OB会研究奨励賞を受賞された港区立青南小学校の指導教諭寺師純子先生にお願いしました。都教委主催小学生科学展の都知事賞受賞研究を生み出す指導」を中心に、主体的に理科研究に取り組む児童の育成について発表していただき、理科教育の推進の大切さを改めて学ぶことができました。

## 第3回研修会 「地学巡検」

- 日 時 令和5年11月9日(木)に実施 8時～15時
- 会 場 城ヶ島の地質
- 集 合 JR品川駅京急乗り換え専用改札午前8時集合
- 講 師 蛭田 俊男先生 ○ 参加者 11名
- 内 容 都小理OB会顧問の蛭田俊男先生を講師にお迎えして、城ヶ島を歩きながら地質について貴重な研修を行うことができました。蛭田先生が作成してくださった「大地は動く」という資料を基に、実際に地層を見ながら解説していただいたことで、500万年前の大地の変化について詳しく理解することができました。スコリアを挟む砂岩泥岩の互層や火炎構造など大地の息吹に触れ有意義な一日になりました。

## ③ 広報部活動報告

### 1 会報「都小理OB会便り」の編集・発送

#### (1) 73号(令和5年7月31日発行)

1頁	新会長就任挨拶「会員にとって より魅力的なOB会に」(中村 守氏) 前会長勇退挨拶「人と人とを結びつける交差点としての意義を大切に」(大門康雄氏)
2頁	第1回研修会報告「日影沢(八王子市高尾町)付近の植物観察会」(伊澤 卓也氏)
3頁	私の一冊「宮沢賢治『ポラーノ広場』から」(時澤 廉氏) 冊子「会員の声」の発刊に当たって (安齋正彦氏) 都小理OB会研究奨励賞表彰式・感謝状贈呈式
4頁	令和5年度総会の報告、役員等の組織、お知らせ

#### (2) 74号発行(令和5年12月31日発行)

1頁	「都小理OB会の日」 第2回 都小理OB会懇親会の報告(丹 伸子氏) 各部の活動<調査研究部養成研修担当> (千葉秀一氏)
2頁	会員通信「ヨハネスブルグ日本人学校」(渡島郁弘氏) 第56回 全小理神奈川大会報告【第1日目研究全体会】(小林政雄氏)
3頁	第56回 全小理神奈川大会報告【第2日目横浜市立立野小学校】(千葉秀一氏) 第2回研修会報告「港区立青南小学校にて～現役の先生の優れた実践から学ぶ」(伊澤卓也氏)
4頁	○理科教育の動向「指導に生かす評価とは(1)～進まない評価改革」(田村正弘氏) ○お知らせ

#### (3) 75号発行(令和6年3月31日発行)

1頁	都小理会長挨拶 (杉山 勇氏) 都小理新年研修会「南極観測の魅力をお子たちに」報告(鈴山尚子氏)
2頁	都小理OB会・研究奨励賞受賞研究の紹介 (森内昌也氏)
3頁	第3回研修会報告<地学巡検「城ヶ島の地質」> (伊澤卓也氏) 都小理研究発表会報告 (中村裕子氏)

4頁	理科教育の動向「指導に生かす評価とは(2)～指導と評価の一体化のための方策例」(田村正弘氏) お知らせ 編集後記(中村裕子氏)
----	--

## 2 その他の活動

### (1) 都小理OB会 庶務部・研修部・会計局との連携

新会員勧誘用：OB会便り 20部、  
ホームページ掲載OB会便り用データ送信

### (2) 都小理との連携

役員会へ都小理OB会便り各号送付(40部)  
全小理大会取材

## ④ 調査研究部活動報告

### 1 理科指導講師派遣事業

- (1) 講師名簿の作成 本年度新規登録者 無
- (2) 都小理OB会ホームページ掲載 7月更新

### 2 都小理・養成研修部活動支援事業

- ・5月 都小理養成研修部長 阿井 隆校長(板橋区立赤塚本町小学校)より、17期研究員6名、13期シニア研究員9名への支援要請を受ける。
- ・6月、OB会員への支援要請の通知を発送する。
- ・11月 研究発表会にむけてOB会員に協力要請依頼の通知を発送する。

#### (1) 養成研究員・シニア研究員への夏季集中研修での助言

会場 板橋区立赤塚本町小学校(校長 阿井 隆)

- ・7月24日(月) 9:00～17:00 協力会員10名  
研究の概要を聴き、グループごとに助言・相談を行う。
- ・7月26日(水) 9:00～17:00 協力会員6名  
午前中は研究概要まとめをし、午後はプレゼン発表に対して助言する。

#### (2) 養成研究員、シニア研究員の研究発表会用のプレゼン助言

会場 板橋区立赤塚本町小学校(理科室)

- ・12月19日(火) 15:30～17:00 協力会員 4名

#### (3) 研究発表会への参加

- ・養成研究員・シニア研究員の発表会  
日時 1月30日(火) 13:30～16:00  
会場 板橋区立赤塚新町小学校  
内容 研究員・シニア研究員A・Bの3グループの発表  
授業発表は、研究員とシニア研究員Bの2授業を実施した。  
シニア研究員Aは、全体会にて研究報告を行った。

### 3 都小理OB会研究奨励賞事業

#### (1) 第12回都小理OB会研究奨励賞 応募件数2件あり

#### (2) 選考結果 <奨励賞受賞研究>

- ・江戸川区立一之江第二小学校 主任教諭 増田 愛香  
[研究主題]「自然と向き合い、多様な考えを受け入れ、主体的に問題を解決する理科学習」  
～3年「身の回りの生物を通して」～

#### (3) 表彰までの経緯

- ・応募締め切り(1月) ・応募原稿受理・調査研究部担当(1月)
- ・担当副会長指導助言(2月上旬) ・会長審査(2月中旬) 会長決定通知送付(2月下旬)
- ・受賞者の所属校長及び本人への連絡(3月) ・決定通知書の送付(3月)
- ・受賞研究の紹介をOB会便り75号に掲載(3月) ・表彰状、副賞(図書券)準備

### 4 その他の事業

#### (1) 「理科教育の動向」について情報発信

- ・OB会便り74号と75号への掲載  
「指導に生かす評価とは」(1)進まない評価改革 (2)指導と評価の一体化のための方策例

## (2) 令和5年度 会計報告

令和5年度の収支決算書（一般会計の部、特別会計の部の2種類）並びに会計監査について、下記の通り報告します。

### ① 収支決算書

#### 一般会計の部

#### 1 収入の部 482,084 円

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	133,386	133,386	令和4年度の決算残額から
会費	270,000	303,000	令和5年度分(97名分)及び未納分の会費(二重払含む)
雑収入	0	45,698	第二回懇親会残金
合計	403,386	482,084	

#### 2 支出の部 261,069円

科目	予算額	決算額	備考	
会議費	15,000	16,175	会場費、総会費、役員会費、渉外等	
事務費	50,000	26,707	印刷費、各種用紙代、封筒代等	
通信費	150,000	105,705	各種発行物郵送費 都小理との情報交換費(30,000円)等	
各部等活動費	庶務部	15,000	15,000	各種記録・連絡費等
	研修部	25,000	25,000	研修会講師謝礼、実地踏査費等
	広報部	20,000	13,092	取材費、印刷機器借用謝礼等
	調査研究部	15,000	14,390	OB会研究奨励賞事務、講師派遣事業等
会計局事務費	5,000	5,000	事務経費、会費納入依頼はがき等	
研究奨励賞奨励金	60,000	30,000	研究奨励賞奨励金(1研究 30,000円)	
特別会計積立金	10,000	10,000		
予備費	35,386	0		
合計	400,386	261,069		

#### 3 収支決算残額 221,015 円

特別会計の部

1 収入の部 388,000円

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	378,000	378,000	令和4年度の決算残額から
本年度積立金	10,000	10,000	一般会計より令和5年度分の積み立て
雑収入	0	0	
合計	388,000	388,000	

2 支出の部 0円

科目	予算額	決算額	備考
周年行事費	0	0	
合計	0	0	

3 収支決算残額 388,000円

令和6年3月31日

東京都小学校理科教育研究会OB会 会長 中村 守 (印)  
 会計局長 江平 秀子 (印)  
 会計長 今福 京子 (印)  
 会計 清澤 和人 (印)  
 会計 土田 恵美子 (印)

② 会計監査報告

◇ 監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和6年5月19日

東京都小学校理科教育研究会OB会 会計監査 林 四郎 (印)  
 会計監査 庭野 正和 (印)

### (3) 令和6年度 都小理OB会 役員等の組織(案)

役職名		氏名	主な職務内容等
会長		中村 守	本会を代表し、会務を総括する。
副会長		干臺 健治 安齋 正彦 福田 晴男 丸山 雅弘 江平 秀子	<b>【事務局長、調査研究担当】</b> <b>【庶務担当、ホームページ】</b> <b>【研修担当】</b> <b>【広報担当】</b> <b>【会計局長兼任】</b>
事務局	庶務部	◎丹 伸子 ○森 富子 石川 博朗 林田 篤志 中村 雄一	①事業計画の作成                      ②総会、役員会などの開催通知 ③会員、役員会などの名簿作成        ④会員の募集 ⑤OB会の記録の作成と保管            ⑥HPの作成と更新 ⑦全会員からの「会員の声」冊子の作成 ⑧研修部・広報部・調査研究・会計に属さない事務等
	研修部	◎伊 澤 卓也 ○栗 原 良夫 叶 雅之 大 橋 栄	①研修事業の計画・準備などを行う。 ②研修会の案内・通知などを行う。 ③研修会時の運営などを行う。 ④研修の評価・反省などを行い、充実化を図る。
	広報部	◎小 林 政雄 ○鈴 山 尚子 半 田 あつ子 中 村 裕子	①OB会便り【広報誌】の定期・臨時の発刊と発送を行う。 ②都小理・全小理をはじめ各種研究大会等の周知を行う。 ③科学教育に関する有為な情報の広報・案内などを行う。 ④その他、都小理OB会に関する広報的事務を行う。
	調査研究部	◎吉 井 恵子 ○千 葉 秀一 荒 井 公毅 森 内 昌也 福 田 昌弘 田 村 正弘	①都小理OB会研究奨励賞事業に関する調査と事務を行う。 ②理科指導講師派遣事業に関する調査と事務を行う。 ③都小理養成研修部の研究推進に関する支援・助言を行う。 ④理科教育に関する情報収集を行う。
会計局		江平 秀子 ◎今 福 京子 ○清 澤 和人 土 田 恵美子	<b>【会計局長】</b> ①年会費の徴収事務を行う。 ②予算を執行し、当該年度の決算報告書作成と保管をする。 ③次年度の予算計画案を作成する。 ④その他、都小理OB会の会計全般に関する事務を行う。
会計監査		◎林 四郎 庭 野 正和	①会計を監査する。 ②総会に報告する。
顧問		馬場 恒夫 細井 隆輝 蛭田 俊男 長谷川 由利子 吉田 英也 川越 秋廣 大門 康雄	第4代会長 第5代会長 第6代会長 第7代会長 20周年実行委員長 第8代会長 第9代会長

## (4) 令和6年度 事業計画

### ① 全体活動計画(案)

月	活動内容	担当	備考
4月	<b>◆新会員募集</b> ◇総会案内及び「会員の声」募集を発送 ◇令和5年度決算書作成 ◇総会用印刷物等の準備 ◇総会参加者の確定、「会員の声」収集	庶務部 庶務部 会計局 各担当者 庶務部	<b>◆ホームページへの掲載</b>  印刷物原稿は 4月23日まで
5月	◇令和5年度会計の監査 ◇令和6年度総会 ◇令和5年度表彰式及び贈呈式 ◇研究奨励賞の募集 ◇理科指導講師名簿登載調査書訂正確認① ◇第1回研修会(近郷型農業見学会) ◇都小理養成研修部と支援の連携確認	会計監査・会計局 役員全員 調研部・庶務部・広報部 調査研究部 調査研究部 研修部 調査研究部	都小理総会にて OB会総会資料配布  <b>◆令和6年度都小理OB会の活動等をホームページに掲載</b>
6月	◇理科指導講師名簿登載調査書訂正確認② ◇懇親会詳細計画【確定版】・案内等作成 ◇都小理養成研修部への支援一覧表作成	調査研究部 事務局長・庶務部・会計局 調査研究部	都小理養成研修部と 連携・調整(調研部)
7月	<b>◆OB会便76号発行</b> ◇「会員の声」冊子の発送 ◇総会欠席者への議案書発送 ◇懇親会案内発送 ◇会費納入願い文書発送 ◇理科指導講師名簿の発送と掲載	広報部 庶務部 庶務部 事務局長・庶務部・会計局 会計局 調査研究部	<b>◆ホームページへの掲載</b> 都小理夏季養成研修会  <b>◆ホームページ更新掲載</b>
8月	◇会費納入者と未納者の把握・対応 ◇懇親会参加者の把握と予算計画	会計局 事務局長・庶務部・会計局	会員から会費納入
9月	◇第1回役員会 (活動進捗状況と今後の取り組み) ◇懇親会の準備・確認	役員全員  事務局長・庶務部・会計局	
10月	◇都小理OB会の日 第3回懇親会 ◇第2回研修会(小石川植物園観察会) ◇懇親会の反省等のまとめ・会計報告	役員全員 研修部 事務局長・庶務部・会計局	
11月	◇第3回研修会(真菌研究見学会)	研修部	全小理広島大会
12月	<b>◆OB会便77号発行</b> ◇会費未納者への督促状の発送 ◇研究奨励賞の応募締め切り	広報部 会計局 調査研究部	<b>◆ホームページへの掲載</b>
1月	◇第2回役員会(活動報告と計画案①) ◇研究奨励賞の応募研究精査・選定	役員全員・各部・会計 調査研究部	都小理新年研修会 同養成研究発表会
2月	◇各部活動費の会計簿作成⇒会計局へ	各部⇒会計局	都小理研究発表会
3月	◇第3回役員会(活動報告と計画案②) ◇令和7年度総会・表彰式実施計画 ◇研究奨励賞の受賞研究を決定 ◇令和7年度役員組織案づくり <b>◆OB会便78号発行</b>	役員全員・各部・会計 庶務部・調査研究部 各部、担当 会長 広報部	会計局:仮決算書の作成と予算 計画案作成 調研部:該当者へ通知  <b>◆ホームページへの掲載</b>
備考	○上記の他に、活動を充実させるために各部会等が兼ねる。 ○令和4年度の「会員の意向調査結果」を基に、令和5年度中に課題として残った内容については、令和6年度中に検討を重ね、次年度以降の活用案を各部等の担当で随時検討し、具現化していく。 ○都小理養成研修部への協力計画は、上記の他に別途立案し実行する。 ○会計の支出は予算計画に基づいて行い、帳簿の整理はその都度行う。 ◎次の周年事業に向けて、10年間の記録等の保管に留意していく。		



## ② 庶務部 活動計画(案)

1. **OB会総会開催事務・・・全会員宛の開催案内状の作成と発送及び総会資料の作成**
  - ・令和6年5月19日(日)10:30~13:00 板橋区立金沢小学校にて開催。
  - 《・総会議案書、出席会員数分の作成を予定》《・都小理総会配布資料150部印刷》
  - \*都小理総会・講演会・・・同日・13:30~16:00〔体育館〕への参加
2. **感謝状贈呈の準備及び表彰**
  - ・令和6年5月19日(日)都小理総会・講演会終了後の研究奨励賞表彰式後に実施。
    - ① 受賞者 令和5年度 都小理会長 杉山 勇様 (江戸川区立二之江第二小学校長)
    - ② 表彰内容 賞状(額付き)の授与(感謝状の贈呈補助)
  - ・感謝状の賞状の作成と賞状額の手配、および表彰式当日のOB会旗設営等。
3. **総会時以降の役員会等開催事務・・・会場校連絡・調整、開催案内状の作成**
  - ・第1回 令和6年9月9日(月)14:30~16:00 OB会会員校長校
  - ・第2回 令和7年1月17日(金)14:30~16:00 都小理OB会担当副会長校
  - ・第3回 令和7年3月10日(月)14:30~16:00 OB会会員校長校
4. **庶務部会(5月上旬と7月の初旬)の開催及び「会員の声」の作成**
  - ・4月上旬に総会案内と、会員継続確認書・総会出欠回答欄と「会員の声」原稿枠を入れた往復葉書送付(回収:部長)。総会開催日までに臨時部会を開催、返信を基に新年度会員数と総会出席者数の事前把握、議案書と都小理総会配布資料の印刷。回収原稿を「会員の声」として入力し、7月の部会で印刷したものを冊子に纏め、綴込み。7月の部会では、全会員配布のため総会欠席者分の議案書も増刷り。OB会便り76号(7月末発行)発送時の封筒に同封し、全会員に配布。\*名簿の訂正や会則の改定が生じたときは、その都度修正を行い、更新に努める。
5. **来年度(令和7年度)の新入会員募集(入会案内)事務**
  - ・令和6年度当初 入会意志確認葉書回収日...4月末日(4月迄の入会会員に総会案内発送)。
  - ・令和6年度末・勧誘対象者の確認...3月20日まで・入会案内状等の送付...3月25日まで
  - 《同封文書...入会案内状、OB会会則、会員名簿、OB会便り、入会意志確認返信葉書など》
  - ・入会意志確認葉書回収日...令和7年4月末日(4月までに入会した会員に総会案内を発送)
6. **令和6年度会員数の確認**
  - ・令和5年度末会員数97名《5年度当初数99名+新入会数1名-退会数3名(内物故数2名)》
  - ・令和6年度会員数 名《97-(退会者 名)+(新入会数 名)》
7. **HPの作成と更新・・・総会等及び年3回広報誌発行毎に実施の他、担当として毎月随時更新**
  - ・会員の掲示板をスタートし、投稿者数を増やすことに努める。
8. **その他・・・懇親会の事務及び、研修部、広報部、調査研究部、会計などに属さない内容等**

## ③ 研修部 活動計画(案)

◆ 年間3回の研修会を企画する。

### 第1回研修会 「中西農園」～新展開・近郷型農業を学ぶ～

○日時 令和6年5月22日(水)を予定 10時~12時

○会場 中西ファーム

○集合 京王線山田駅10時集合予定

○講師 中西農園の 中西 一弘 様

○研修会報告 研修部担当

### 第2回研修会 「小石川植物園」～日本近代植物学発祥の地で学ぶ～

○日時 令和6年10月5日(土)を予定 13時~15時 (研修後、OB会懇親会を予定)

○会場 小石川植物園

○集合 都営三田線白山駅白山下方面改札13時集合

○案内役 研修部

○研修会報告 広報部担当

### 第3回研修会 「真菌について」～菌界の生物・真菌の不思議を学ぶ～

○日時 令和6年11月下旬を予定 14時~16時 (研修後、大学の先生との懇親会を予定)

○会場 帝京大学 板橋キャンパスを予定

○集合 未定

○講師 帝京大学 医真菌研究センター教授 榎村 浩一 様

○研修会報告 広報部担当

\* 各研修会の詳細案内は、開催期日1ヶ月前までに全OB会員宛てにハガキで案内を行う。

## ④ 広報部 活動計画(案)

### 1 会報「都小理OB会便り」の発行【年間3回】

※OB会便りはA4版 見開き4ページ、カラー印刷とする。

#### (1) 第76号 (令和6年7月31日発行予定)

- ①会長挨拶・本年度の取り組み方針 ②第1回研修会報告
- ③私の一冊 ④理科教育の動向
- ⑤都小理OB会研究奨励賞表彰式・感謝状贈呈式
- ⑥総会報告(役員組織紹介) ⑦お知らせ

#### (2) 第77号 (令和6年12月31日発行予定)

- ①会員通信1 ②都小理OB会 第3回「懇親会」の報告
- ③第2回研修会報告
- ④第57回全小理「広島大会」報告(全体会・分科会)
- ⑤科学トピックス ⑥各部局の取組み ⑦お知らせ

#### (3) 第78号 (令和7年3月31日発行予定)

- ①都小理会長挨拶 ②都小理新年研修会報告 ③会員通信2
- ④第13回OB会研究奨励賞受賞研究の紹介 ⑤第3回研修会報告
- ⑥各部局の取組み ⑦お知らせ ⑧編集後記

### 2 その他の活動

- (1) 都小理OB会 庶務部・研修部・調査研究部・会計局との連携  
(記事掲載・発送協力)
- (2) 都小理との連携 OB会便りを役員会へ配布  
全小理研究大会や新年研修会の取材等

## ⑤ 調査研究部 活動計画(案)

### 1 理科指導講師派遣事業

- (1) OB会員への「講師名簿登載依頼」作成・送付・回収(5月～6月末)
- (2) 講師名簿の訂正作成(7月)  
令和6年度、新入会の会員を中心に行う。(庶務部と連携)
- (3) 都小理OB会ホームページ、都小理ホームページに掲載(7月更新)
- (4) 講師名簿の送付(役員及び都教職員研修センター)(7月中)
- (5) 講師派遣の実施状況の集約  
自己申告(担当に報告することをホームページに記載する)

### 2 都小理・養成研修部活動支援事業

- (1) 都小理養成研修部長との連絡(5月)
- (2) OB会員への協力依頼(5月)
- (3) 養成研修部会への支援活動(7～1月)

### 3 都小理OB会研究奨励賞事業

- (1) 第13回研究奨励賞の案内配布(都小理総会・地区理事会等を活用)
- (2) 都小理加盟地区担当者への応募斡旋の依頼(6月)
- (3) 都小理役員への応募斡旋の依頼
- (4) 応募受付(9～12月)、応募〆切り12月末
- (5) 研究成果論文提出〆切り(1月末)
- (6) 提出論文予備審査(2月中旬)
- (7) 会長への具申(2月末)
- (8) 受賞研究の決定(3月中旬)
- (9) 受賞研究の発表と通知(3月中旬)
- (10) 受賞研究の表彰(令和7年度 都小理総会)

### 4 その他の事業

- (1) 「理科教育の動向」について情報発信  
・OB会便りへの掲載し、理科教育の新情報を広く伝えていく。

# (5) 令和6年度 会計計画

## ① 予算計画 (案)

### 一般会計の部

#### 1 収入の部 491,015円

科目	予算額	昨年度比	備考
前年度繰越金	221,015	87,692	令和5年度の決算残額から
会費	270,000	0	3,000円×90人
雑収入	0	0	
合計	491,015	87,630	

#### 2 支出の部 491,015円

科目	予算額	昨年度比	備考	
会議費	17,000	2,000	会場費、総会費、役員会、渉外費等	
事務費	50,000	0	印刷費、各種用紙代、封筒代等	
通信費	150,000	0	各種発行物郵送費 都小理との情報交換費(30,000円)等	
各部活動費	庶務部	15,000	0	各種記録、冊子作成、連絡費等
	研修部	25,000	0	講師謝礼、研修場所の实地踏査費等
	広報部	20,000	0	取材費、印刷機器借用謝礼等
	調査研究部	15,000	0	OB会研究奨励賞事務、講師派遣事業等
会計局事務費	5,000	0	事務経費、会費納入依頼の連絡費等	
研究奨励賞奨励金	60,000	0	研究奨励賞奨励金(1研究30,000円×2)	
特別会計積立金	10,000	0		
予備費	124,015	88,629	(参考:令和5年度 26,060)	
合計	491,015	90,629		

### 特別会計の部

#### 1 収入の部 398,000円

科目	予算額	昨年度比	備考
前年度繰越金	388,000	10,000	令和5年度の決算残額から
本年度積立金	10,000	0	一般会計より令和6年度分の積み立て
雑収入	0	0	
合計	398,000	10,000	

#### 2 支出の部 0円

科目	予算額	昨年度比	備考
周年行事費	0	0	
合計	0	0	

# 東京都小学校理科教育研究会OB会 「会 則」

- 第一条 《名称》 この会は、東京都小学校理科教育研究会OB会（略称 都小理OB会）と称し、事務所を会長宅に置く。
- 第二条 《目的》 この会は、会員の生涯学習に寄与するとともに、東京都小学校理科教育研究会（以下、都小理という）の進展・向上に協力し、会員相互の親睦を深めることを目的とする。
- 第三条 《事業》 この目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 会員の要望に応じた観察会、講演会、調査研究、情報の交換など
  - (2) 都小理・全小理の総会、研究会などへの参加、都小理OB会研究奨励賞などの研究支援
  - (3) 都小理OB会総会、懇親会などの実施
  - (4) 都小理OB会会報の発行
  - (5) その他、この会の目的を達成するために必要な事業の実施
- 第四条 《会員》 この会の会員は、都小理会員であった者、及びこの会の目的に賛同した者とする。
- 第五条 《役員・業務》 この会に次の役員を置き、役員会を構成する。
- |         |     |                             |
|---------|-----|-----------------------------|
| 会 長     | 1名  | この会を代表し、会務を総括する。            |
| 副会長     | 若干名 | 会長を補佐し、会長に事故がある時はその職務を代行する。 |
| 事務局長    | 1名  | 副会長が担当し、事務処理を統括する。          |
| 事務局 庶務部 | 若干名 |                             |
| 研修部     | 若干名 |                             |
| 広報部     | 若干名 |                             |
| 調査研究部   | 若干名 | （略称 調研部）                    |
| 会計局     | 若干名 | 会計事務を処理する。                  |
- 第六条 《役員を選出》 役員は、役員会で選任し、総会において承認を得る。
- 2 役員は任期を2年とし、再任も可とする。
  - 3 活動の充実のため、年度の途中で新規役員を追加する場合は、他の役員と同様の残任期間とし、役員会で全て決定できる。
- 第七条 《会計監査》 この会に会計監査を置く。会計監査は経理を監査し、総会に報告する。
- 2 会計監査は総会で会員の中から選任する。
  - 3 会計監査は2名、任期を2年とする。再任も可とする。
  - 4 補充が必要な時は、他の会計監査と同様の残任期間とし、役員会で全て決定できる。
- 第八条 《顧問》 この会に顧問を置くことができる。
- 2 顧問には会長を経験した者、特別委員会の長を経験した者を充て、会長は総会に報告する。  
（※特別委員会とは記念事業実行委員会を指す。）
- 第九条 《総会》 この会の総会は、会則の改定、役員人事、活動内容、会計など重要事項を審議し、承認や決定をする。
- 2 総会は、原則として都小理総会の日定期的に開催する。
  - 3 必要に応じて臨時総会を開催できる。
  - 4 重大な社会状況が生じた時は、通常以外の方法で総会を開催できる。
- 第十条 《役員会》 この会の役員会は、目的達成のための企画調整・執行機関として、全般に亘り総会に次ぐ決定ができる。
- 2 役員会は①会務の企画や会計の立案、②運営や執行、事務処理、③会則立案、④その他を審議し決定する。
  - 3 役員会は年3回の開催とする。なお、必要に応じて臨時役員会を開催できる。
  - 4 総会を開催できない状況が生じた時は、会則の改定以外は役員会で全て決定できる。
- 第十一条 《経費》 この会の経費は、会費、活動参加費及びその他の収入による。
- 第十二条 《会費》 この会の会員は、会費として年間 3,000円を負担する。
- 第十三条 《会計年度》 会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## [ 付 則 ]

- 第一条 《施行日》 この会則は、令和4年（2022年）5月15日から施行する。
- |                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| 平成11年（1999年）5月13日 制定          | 平成28年（2016年）5月7日 一部改定(欠格条項)  |
| （この間の、一部の文言改定は省略する。）          | 平成29年（2017年）5月20日 一部改定(会費)   |
| 平成18年（2006年）5月18日 一部改定(付則)    | 令和2年（2020年）9月10日 一部改定(顧問)    |
| 平成25年（2013年）5月12日 一部改定(調査研究部) | 令和4年（2022年）5月15日 一部改定(総会・役員) |
- 第二条 《慶弔》 会員が逝去した時は、会長名で弔電を送るとともに、会報に掲載し弔意を表す。
- 第三条 《欠格条項》 会員が反社会的な行為などを起こし、この会の名誉や信頼を著しく損なった時、また3年間にわたり会費の納入がなかった時は、この会の会員資格を失うものとする。

**研究主題**  
**受賞者**

自然に親しみ、多様な考えを受け入れ、主体的に問題解決する理科学習  
江戸川区立一之江第二小学校 主任教諭 増田 愛香

**1 研究の概要**

都小理研究推進委員として構築した研究理論の具現化を所属校の授業実践で示し、校内や所属する区の理科教育の充実に努めている。令和5年度は、第3学年「身のまわりの生物」の学習において、都小理型問題解決のプロセスに沿って実践研究を行った。主に自然と触れ合う場を意図的・計画的に設定し、また児童が多様な考えを共有して受け入れられるように、ICTを活用した協働的な学習にも取り組んだ。今日的な理科教育の研究課題も視野に入れた研究である。

**2 研究の重点**

研究主題を追究するために、研究の重点として以下の指導の手立てを設定した。

**手立て①：校内環境の整備**



こん虫を呼び寄せるための観察園の整備

**手立て②：飼育体験の充実**



教室にカブトムシのさなぎコーナーを設置

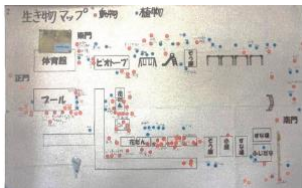
**手立て③：教材の工夫**



様々なこん虫標本の作成

**手立て④：問題の見だしへの支援**

(問題への意識を高める支援)



生き物（動物植物）マップの作成

**手立て⑤：ICTの活用**

(キーワード集計機能の活用による集約と共有)



「ムーブノート」を活用した指導（個の予想の共有）

**○研究の成果と課題**

- ・ **成果**⇒指導過程の随所で手立ての工夫を行い、そのどれもが児童の問いを引き出し、観察の知識技能を身に付けるのにふさわしいものとなった。また「ムーブノート」の活用により、児童が多様な考えを受け入れて問題解決を行う協働的な学習が実践できた。
- ・ **課題**⇒教科書で扱う生物はすべて全て取り扱った。そのため、授業の進行と生物の成長のタイミングを併せていくのに苦心した。都小理生命委員会が提唱している観察のタイミングの重要性を先行研究として、今後さらに適切な指導時間を確保した指導計画の立案を検討していく。

**3 受賞のポイント**

増田主任教諭の論文からは、都小理での学びの成果を日々の実践として具現化し、校内や所属する区の理科教育の充実に取り組む姿勢が読み取れる。研究内容もさることながら、意欲的に理科教育の研究活動に臨む姿勢こそ、本賞の受賞にふさわしいと言える。

小学校長様  
小学校理科主任様  
理科教育関係各位

東京都小学校理科教育研究会OB会

## 東京都小学校理科教育研究会OB会 令和6年度 研究奨励賞・募集要項

「東京都小学校理科教育研究会OB会・研究奨励賞」の募集要項です。  
下記の内容にしたがい、多数ご応募くださいますことを期待しております。

### ☆ こんな研究を求めています ☆

- \* 新教材の開発や新たな理科理論などの研究
- \* 観察・実験の工夫や指導法の改善研究
- \* 独創性に富む実践的で実証的な研究
- \* 理科教育の充実・発展につながる研究

### 受賞者への表彰内容・特典

- 1 都小理OB会研究奨励賞として、受賞研究ごとに額付き賞状が授与されます。
  - ・共同研究者は、賞状の受賞者欄に受賞者名とともに連記し栄誉を称えます。
- 2 副賞として、受賞研究ごとに3万円（図書券）の研究奨励金が付与されます。
- 3 翌年度の5月に行われる「都小理総会」席上において、OB会 会長より表彰します。
  - ・受賞された方は、表彰式の30分前までに「都小理総会 会場」にご参集ください。
- 4 受賞研究は都小理OB会だよりや都小理会報等で広く周知します。
  - ・受賞研究物の研究テーマや受賞者名（勤務校含む）などをはじめ研究内容の概要について「都小理OB会だより」や「都小理OB会HP」及び「都小理会報」などに紹介し、広く周知します。

☆ 応募研究は、個人または少人数（2～3人）で、未発表であるものに限りま

### ☆ 研究の応募方法、成果の提出について

#### 1 応募用紙の提出

応募用紙に必要事項を記入し、**12月末日までにご応募ください。**

- ・応募用紙は、都小理HP内にある「OB会HP」にもあります。ダウンロードしてお使いください。
- ・提出方法は、応募用紙の下段に示されているインターネット送信などの方法でご提出ください。

#### 2 研究成果の提出

研究成果を**A4版10ページ程度にまとめ、翌年1月末日までにご提出ください。**

- ・OB会報用原稿・HP紹介用として研究内容・成果等の**要約版の作成**をお願いします。

#### 3 その他、研究内容や実践状況などの調査

- ・OB会担当者による授業研究の参観や、開発教具調査などの**実地調査**を行うこともあります。

### ☆ 研究奨励賞の受賞までの流れ

- 1 **第一次審査** OB会調査研究部が、提出された研究物から優秀研究を選定します。
- 2 **第二次審査** OB会役員会で、優秀研究から受賞研究となる最優秀2研究を選定します。  
\*最優秀研究に該当する研究が無かった年度は、受賞研究無しとなります。
- 3 **受賞者に決定した方には、4月中旬までに所属校長を通じ文書で通知します。**

多くの先生方の熱意あるご研究の応募を、お待ちしております。

# 令和6年度「都小理OB会 研究奨励賞」応募用紙 兼 校長推薦用紙

(フリガナ) 応募者(代表)名		( )	勤務校	校名	
職名(○印)		主幹教諭 指導教諭 主任教諭 教諭		住所	〒
自宅	住所	〒			
	電話	☎ (携帯)			
Eメールアドレス	自宅	勤務校(○印)	Eメールアドレス		
	共同研究者欄 (校名、氏名)				

研究主題名 (仮題でも良い)	
研究内容の概要  (主な研究内容 をご記入ください。)	
研究計画の概略  (主な研究計画 をご記入ください。)	

所属校長推薦欄 (無くて可)	上記の応募研究を推薦いたします。  立 小学校長 (ご芳名)	令和 年 月 日
-------------------	---	----------

- ※ 本賞への応募は、この応募用紙に必要な事項を記入のうえ、**12月末日を厳守**し、ご提出ください。  
【提出先・問い合わせ先】 森内昌也 宛(都小理OB会調査研究部・研究奨励賞担当)
- ※ OB会ホームページの投稿用アドレスよりお入りください。
- ※ 都小理OB会調査研究部が事前に連絡し、研究内容や研究状況などの調査を行うことがあります。
- ※ 研究成果は、A4版10枚程度にまとめ、**翌年1月末日を厳守**し、上記の宛先にご提出ください。